

# 【自主防災組織の体制づくり】

## ■自主防災組織の役割■

地域内で自主的に防災活動を行う自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。

- 1) 市役所、消防署など防災機関との情報交換や地域住民への情報の伝達
- 2) 火災の発生防止や初期消火
- 3) 地域住民の安否の確認
- 4) 地域住民が安全に避難するための誘導
- 5) 障がい者、高齢者、妊婦、乳幼児などいわゆる災害時要支援者への援助
- 6) 簡単な工具を使用しての救出や負傷者の救護
- 7) 救援物資(食事など)の分配

これらの役割は、阪神・淡路大震災の例でもわかるように、他の地域や防災機関からの援助がすぐに及ばない大災害では、一層大きくなります！

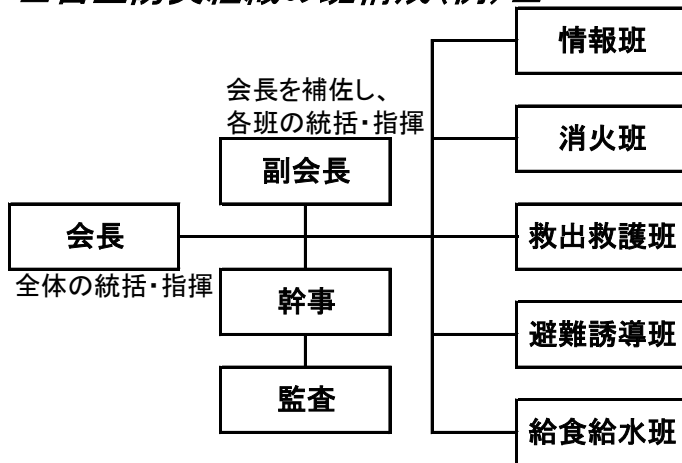
## ■自主防災組織の構成■

自主防災組織の役員が果たすべき役割は、平常時、災害時を問わず極めて重要です。防災活動が円滑となるように町内会または、自治会との関係を工夫する必要があります。

＜組織の3つのタイプと特徴＞

| タイプ | 重複型                     | 下部組織型                                 | 別組織型                          |
|-----|-------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|
|     | 町内会役員が自主防災組織の役員も兼務する    | 町内会長(=自主防災組織会長)の下に独自の役員をもつ自主防災活動部門を作る | 町内会が中心となって、町内会とは全く別に自主防災組織を作る |
| 長所  | 組織づくりが容易                | 活動を継続しやすい                             |                               |
|     | 住民にとって組織の仕組みがわかりやすい     | 会長以外の役員の負担が軽い                         | 役員全体の負担が軽い                    |
| 短所  | 町内会の役員交替によって活動方針や熱意が変わる |                                       | 地域内に2人の長がいて、混乱や対立が起こりやすい      |

## ■自主防災組織の班構成(例)■



| ＜平常時＞  | ＜災害時＞  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、説明会等の開催</li> <li>・緊急連絡表の作成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の収集伝達、広報</li> <li>・防災機関への被害報告</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭の火災予防の普及</li> <li>・消火訓練の実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火活動</li> <li>・火災の警戒</li> </ul>          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当講習会の開催</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の応急援護</li> <li>・医療機関への連絡</li> </ul>     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路の確認調査</li> <li>・自力で避難困難な者の把握</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導</li> <li>・危険箇所の警戒</li> </ul>          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各世帯への備蓄の徹底</li> <li>・炊き出し計画の立案</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し</li> <li>・物資の調達及び管理</li> </ul>        |

### ◆非常時活動のすすめ方◆

災害が発生したら、落ち着いて臨機応変に対処しましょう。日常活動の成果を示そうとばかりに無理をすることは禁物です。

### ◆災害時には、まず自分自身の身の安全を優先してください◆

生命の危険がともなう非常時の防災活動でまず重要なのは、無理をしないことです。日常活動の成果を発揮しようと無理をすることは危険なばかりか、勇み足が被害を拡大させるおそれさえあります。公的防災機関と連携して指示を受け、責任を持った活動を心がけましょう。

＜＜＜地域防災の3本柱＞＞＞

災害対応能力

常備消防

消防団

自主防災組織

動員力

常備消防

消防団

自主防災組織

⇒相互補完することが地域防災力の要点

